

高度利用者向け緊急地震速報専用受信機

DPASS

Disaster ProActive Support System



面倒な操作は不要!サーバー演算型モデル

SH500-J

DPASSは、高度利用緊急地震速報を受信する専用端末です。

気象庁から発報される高度利用緊急地震速報の電文を受信し、いち早く端末設置場所までの到達時間と震度をお知らせします。揺れが到達するまでの予測震度・予測猶予時間を知ること、多くの人命や財産の安全に役立ちます。

自社国内開発・安心の日本製 [気象庁訓練報対応]

地震	津波情報
外部機器連動対応	REIC・NHK音対応
	豊富な報知パターン

地震到達の予測猶予時間を知らせる DPASS SH500-J で

こんな対策ができます!

危険な場所から避難



津波情報にも対応!!



施設内の放送機器等と接続や連動が可能に



音声ディレイ (遅延) 対応

高度利用

高度利用 緊急地震速報と 一般利用 緊急地震速報の違いとは?

高度利用者向けのDPASSと一般利用者向け(TV、ラジオ、携帯電話など)の違いはこんなにあります!

一般利用

項目	高度利用の場合	一般利用の場合	DPASSのメリット
発報のタイミング	早い 地震情報を受けたらすぐ発報!	遅い 情報が正確になってから発報!	仙台市内の DPASS 端末 ● 2011年3月11日の三陸沖地震 (確定震度 [6弱]) 「震度4 / 15秒前」 ● 2011年4月7日の宮城県沖地震 (確定震度 [6弱]) 「震度5弱 / 9秒前」
発報震度	震度1から震度7まで細かくお知らせ	震度5弱以上の地震で震度3以上の地域にお知らせ	テレビやラジオでは震度5弱以上の予測がなければ報知しない。
予測エリア	設置場所の震度をピンポイントでお知らせ	広い範囲でお知らせ 現在地状況と必ずしも一致しない	全国ネットでのTV・ラジオ放送の場合は、揺れに関係のない場所にも放送されるため、受け手側にとってはあいまいな情報となる。
死活監視	できる	できない	ドリームウェアデータセンターで受信機が正常に接続されている常態に管理をしています。



地震発生後、瞬時に各地域の予測震度・到達までの猶予秒数を計算しカウントダウンを始めています。

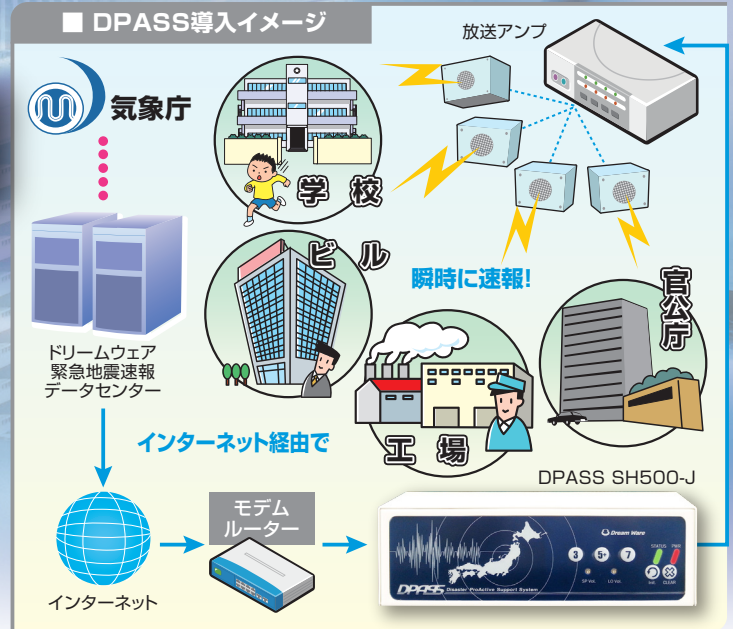


地震発生後、あいまいな表現でテレビやラジオなどを通してお知らせします。



■ 製品仕様

DPASS緊急地震速報受信端末 本体(親機)《SH500-J》		
名称	DPASS 緊急地震速報受信端末	
品番	SH500-J	
本体外形寸法	幅220mm×高さ69.2mm×奥行220mm(突起部除く)	
重量	1.9kg	
電源電圧	DC12V/ACアダプタ使用(出力:DC12V/800mA)	
消費電力	待受1.0W 最大1.2W	
温湿度条件	操作時0~40℃/非動作時-10~60℃/湿度10~80%RH(結露なきこと)	
電文受信方式	IPv4インターネット常時接続環境でのTCP/IP方式	
出力	外部制御出力 (DO 1/2/3/4)	無電圧リレー接点出力(A接点,B接点 設定可能) 定格電圧: 38V/最大ピーク電圧: 60V 定格電流: 1000mA/最大ピーク電流: 1000mA
	内蔵音声出力 (SPEAKER)	2W
	外部音声出力 (LINE OUT)	RCA-MONO,出力電圧(最大): 2.5Vp-p(+4.2dBs),出力インピーダンス:10KΩ不平衡
	信号出力 (DEBUG)	TTLレベル
入力	電源 (POWER)	AC100V (50/60Hz)/DC12V-800mA
	外部音声入力 (LINE IN)	RCA-MONO,入力電圧(最大):1.2Vp-p,入力インピーダンス:33KΩ不平衡
	ネットワーク (RJ-45)	10/100Base-T 配信サーバーとの通信ポート: 9001
	外部接点入力 (DI 1/2/3)	電圧リレー接点出力に対応。出力電圧: 5V,出力電流: 5mA
機能	発報震度レベル設定	気象庁震度階級 1~7の間で設定 ※接点出力(DO)に限りキャンセル報での動作選択も可能
	発報表現設定	詳細/曖昧1(カウントダウン有)/曖昧2(カウントダウン無)
	端末動作確認テスト	震度レベル3段階(3/5強/7/猶予時間20秒固定) ループ
	告知アナウンス設定機能	地震発報後、避難誘導音声の設定可能
接続コネクタ	津波注意報・警報受信機能	津波注意報・警報受信可否設定が可能
	LINE OUTディレイ機能	無し/1秒~10秒 選択
	外部出力(接点出力)設定機能	接点出力のディレイ/出力時間/出力方式設定が可能 ディレイ: 無し/100ms~900ms/1秒~10秒 出力時間: 無し/100ms~900ms/1秒~60秒 120秒/180秒/240秒/300秒/連続/AF連動 出力方式: 発報時出力/発報後出力
	音声スルー機能	LINE IN音声をそのままLINE OUTへスルーパスする機能 緊急地震速報が発生した場合、LINE IN音声を遮断しLINE OUTから発報動作を行い、発報が終了するとLINE IN音声の出力を再開する機能
表示/操作音	赤LED (POWER)	電源供給状態およびハードウェア接続状態の確認
	緑LED (STATUS)	ネットワーク接続状態および電文受信の確認
	ブザー	機器稼働確認音
接続コネクタ	電源	外径: 6mm/内径: 2mm
	LINE OUT	RCA ピンジャック
	LINE IN	RCA ピンジャック
	DG-SERIAL	φ3.5 4極ジャック
	RS-232C	D-SUB 9PIN
	DO	スクリューレス 3.5mmピッチ
DI	スクリューレス 3.5mmピッチ	



■ DPASS SH500-Jの主な特徴

- 高度利用緊急地震速報に加え、津波情報追加!!**
 - ◆ 緊急地震速報だけでなく、津波情報(大津波警報・津波警報・津波注意報)を追加。
- 豊富な報知パターン REIC・NHK音にも対応**
 - ◆ 従来の「詳細表現」、「曖昧表現」の2パターンに加え、曖昧表現ではカウントダウンを報知しないパターンを追加。冒頭の告知音では、NHK音の選択が可能に。
- 多彩な告知音声(43種類) 避難誘導音声の提供**
 - ◆ 地震報知終了後に「避難誘導音声」を追加。
「避難誘導音声」は様々なシーンに対応し、日ごろの避難訓練にも活用できます。
- 外部機器接続機能標準装備**
 - ◆ 外部接続端子を4端子標準装備。複数の外部設備への接続や連動が可能になりました。外部音声スルー機能を搭載した端子を装備。入力端子の少ない放送設備にも接続連動が可能です。
- 既存ネットワーク回線に接続!! PROXYサーバー対応**
 - ◆ 既存のインターネット回線で利用可能なため、導入コストを低く抑えられます。
 - ◆ PROXYサーバー対応(SOCKS4, SOCKS5対応)
*インターネット常時接続環境(光・ADSL等)とルータもしくはHUBの空きポートが必要です。
- ソフトウェア・ハードウェアを国内自社開発、国内生産!**
 - ◆ 安心していただける品質を追求するために、ソフトウェアからハードウェアまで一貫して国内で自社開発。生産も国内で行っております。

■ お問い合わせ先

製造・販売元/配信事業者
株式会社 ドリームウェア
http://www.dreamware.jp/
E-mail: 1nf0@dpass.jp
(イチエヌエフゼロ@dpass.jp)

カタログ記載内容: 2018年4月現在 Copyright (C) Dreamware Inc. All Rights Reserved. (r5)

